

(様式1)

第 1 回

東郷小

学校 薩摩川内元気塾実施報告書

平成 26 年 10 月 15 日 実施

演題 見えない世界で生きること

講師 京都府視覚障害者協会 副会長 松永信也先生

塾の様子(写真)



主な感想等

(1) 児童・生徒	<p>○ 白いつえをもちながらあるくことをはじめて知りました。白いつえをもっている人がいたらお手つだいをしたいです。</p> <p>○ 歩くときに手伝ってくれる人のひじやかたをつかんであるくことをはじめて知りました。</p> <p>○ わたしは目をつぶりながら、お料理を食べたり、字を書いたりするなんてとてもできません。わたしは、こんど白いつえをもっている人がいたら「どうしましたか」と声をかけてみたいです。</p> <p>○ 目の不自由な人の助け方や気持ちが分かりました。白杖を使っている人を見たら、教えていただいたやり方で助けてあげたいです。</p> <p>○ 全盲の方でも、弱視の方でも困っているひとがいたら、声をかけて手伝いをしたいです。これまで白杖を使っている人を見かけたことがなかったので、見かけたらおどろかさないようにしたいです。</p> <p>○ 私は目が見えない人はかわいそうと思っていました。でも毎日の生活は楽しいとおっしゃっていたので、すごいと思いました。</p>
(2) 教職員	<p>松永氏が、白杖を持ち外出されていることや料理をされていることに、児童は聞き入っていた。さらに、困った場合は周囲の方々に手助けをお願いすることなど具体的に話をされた。今後、児童は目の不自由な方に出会ったときに、どのように行動すればよいのか考える絶好の機会となった。</p>

参加者数

児童・生徒	235 名	教職員	18 名	保護者	3 名	地域の方	0 名
-------	-------	-----	------	-----	-----	------	-----